

## 肝がん

大阪大学医学部附属病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数	
消化器外科	29	6	早期がんから進行がんまで症状に応じて最適な治療を行います。
消化器内科	22	22	消化器疾患の悪性腫瘍を広く診療対象にし、高度先進医療の実践を目標にしています。また、極めて質の高い医療技術を基盤とし、患者さまやご家族の考えを尊重する全人的な医療を心掛けています。
放射線診断科	3	3	TACE(肝動脈化学塞栓療法)は画像ガイド下で、動脈内にカテーテルを挿入し、腫瘍を栄養する動脈に薬剤・塞栓物質を注入する治療です。また、RFA(経皮的ラジオ波焼灼術)は超音波、CT等を用いて腫瘍を針で穿刺し、電流を流して凝固壊死させる治療です。いずれも、肝内の病変部に限局した治療を行える為、より低侵襲な治療であり、当科では積極的にこの治療に携わっております。
放射線治療科	4	1	

市立豊中病院

外科	19	2	肝胆膵外科は、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設に認定されており、肝・胆道・膵の悪性腫瘍に対する高難度手術に精通するスタッフが、下記のような肝胆膵領域の良性及び悪性疾患に対して幅広く治療を行っています。
内科	20	6	ほとんどの肝胆道疾患に対応可能です。肝細胞癌に対しては、専門医による合同症例検討会を定時開催し、肝切除・ラジオ波などの治療方針を決定しています。
放射線科	6	6	内科、外科等各科主治医との連携のもと、患者様の診断から治療までをトータルに考え、日々の診療に取り組んでおります。

市立池田病院

放射線科	3	1	専門医と高性能機器による精度の高い血管内治療を行なっています。
消化器内科	15	4	
外科	11	5	

済生会吹田病院

消化器・乳腺外科	9	3	消化管領域と肝胆膵領域の医師がそれぞれ専門性をもって診療を行っています。ガイドラインに従って治療を行い、腹腔鏡手術(胆嚢・胃・大腸)、抗がん剤治療(胃・大腸・胆道系)を積極的に導入しています。抗がん剤治療は外来化学療法になります。患者さんのQOLに重点をおいて安全確実な治療を目指しています。
消化器内科	16	5	消化器内視鏡及び肝臓の専門医を中心にあらゆる消化器疾患に対応しています。食道・胃及び大腸の早期がんに対する内視鏡手術、肝がんに対するラジオ波焼灼療法やマイクロ波凝固療法など、手術適応のない消化器がんに対する治療を行っています。消化器外科との連携のもと患者さんのQOLを第一に考えた治療(外科的手術、放射線療法、抗がん剤やステント挿入)を選択するようになっています。

済生会千里病院

消化器外科	8	3	消化器内科と協力して、手適応のある物については積極的に切除を行っています
消化器内科	9	9	外科との合同カンファにより最適な治療を選択しています。放射線治療については近隣の病院と連携しておこなっています。

箕面市立病院

外科	8	1	内科、放射線科との緊密な連携をとり、肝動脈塞栓術、ラジオ波による焼灼術など病状に応じた治療を行っています。
内科	22	3	肝機能異常を指摘されたら早めにご相談ください。

市立吹田市民病院

外科	12	1	
消化器内科	9	1	

大阪医科大学附属病院

消化器外科	8	8	進行度に応じて、腹腔鏡手術から抗がん剤治療や肝移植まで行っています。
-------	---	---	------------------------------------

高槻赤十字病院

消化器外科	6	6	原発性肝癌の治療は、その背景となる肝疾患治療も含め、集学的治療が必要です。当院における原発性肝癌に対する治療は、ガイドラインに準拠しながらも、それぞれの症例に応じた、個別化した治療を行っています。消化器内科でのラジオ波焼灼術、アルコール注入療法、TEA等に外科的治療(肝切除、腹腔鏡下ラジオ波焼灼術等)を組み合わせる事で、再発率の低下や生存率の向上を目指しております。また、術前画像評価や手術器具の改善により、より合併症の少ない安全な肝切除を目指しています。
消化器科	5	5	当院に慢性肝炎・肝硬変で通院されていて肝がんを発症した方に、肝癌診療ガイドラインにそって治療を行っています。

## 肝がん

	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど
	主な診療科名	医師数	当該疾患を専門としている医師数	
愛仁会高槻病院	消化器外科	7	2	肝切除の領域が大きい場合には術前に経皮経肝門脈塞栓術を行い拡大肝切除による根治的治療を目指す一方で、肝硬変のある場合は低侵襲な腹腔鏡下手術も行なっています。転移肝がんには、肝切除に加え、消火器内科と術前術後の化学療法を行い集学的治療をします。
	消化器内科	13	9	早期消化器がんに対するEMRやESDなどの内視鏡治療、消化器がんに対する化学療法、肝臓がんに対するカテーテル治療やラジオ波凝固療法 など積極的に治療に取り組んでいます。
	放射線治療科	1	1	主診療科と密接な連携を図り、標準的治療の遂行と同時に、最後まであきらめない治療スタンスを取っています。
北摂総合病院	消化器内科	5	5	専門医に加え、医療スタッフも手厚く配置しており、きめ細やかな診療を提供します。
	一般・消化器外科	4	4	専門医に加え、医療スタッフも手厚く配置しており、きめ細やかな診療を提供します。
関西医科大学附属枚方病院	肝臓外科	23	4	患者さんへのICのもと、臨床研究も積極的に取組み、より良い治療法の開発を目指している。低侵襲手術、腹腔(胸腔)鏡下手術、機能温存・再建手術、また、進行癌や切除不能症例に対しては化学療法、免疫療法、放射線療法など集学的治療を行っています。
	消化器内科	16	6	消化管・肝・胆・膵にわたりあらゆる消化器領域疾患を対象にしています。それぞれエビデンスに基づいた医療を実践するとともに、高度で先進的な医療についても積極的に取り組んでいます。
	放射線IVR科	18	2	最先端の医療器具を用い、体を切ることなしに、体外から遠隔操作で治療を行いますので低侵襲です。
	放射線治療科	18	2	リニアック、新型コバルトによる高線量率小線源治療装置および小線源放射線治療計画専用CTを保有し高精度の放射線治療を実現しています。
松下記念病院	外科	11	5	
	消化器科	9	2	切除不能肝がんについては、ラジオ波焼灼療法及び放射線科と協力して肝動脈塞栓術を行っていません。
	放射線科	1	1	
星ヶ丘厚生年金病院	外科	9	9	原発性肝細胞がんに対して主に肝切除を行なっています。手術前に肝臓の予備能力を評価し、腫瘍の存在部位に応じた術式を選択しています。原発性肝細胞がんの患者さんは多くの場合B型肝炎やC型肝炎を伴っているため再発が多く、手術後の経過観察や追加治療が非常に重要です。手術後も御紹介いただいた病院と連携してフォローアップを行っております。切除不能な肝細胞がんに対しては、放射線科と協力してTAE(血管造影下の肝動脈塞栓術)を行なっています。また大腸がんからの転移性肝がんも近年増加しており、積極的に肝切除による治療を行なっています。手術が困難な症例に対しては、ガイドラインに準じて全身化学療法を行なっています。
	消化器科	4	4	
	放射線科	2	2	
東大阪市立総合病院	外科	7	1	日本消化器病学会認定消化器病専門医、日本肝胆膵外科学会評議員が在籍しています。平成22年肝・胆・膵がん手術数:50例
	消化器内科	8	3	慢性肝疾患患者からの発癌の早期発見・治療のため定期的な画像検査に加えエコーガイド下肝生検による肝腫瘍診断も行っています。肝細胞癌は症例に応じラジオ波焼灼療法等の局所治療、経カテーテル的肝動脈塞栓術を行っています。
八尾市立病院	外科	14	3	消化器内科、放射線科と共に、集学的治療を行っています。
	消化器内科	7	7	
	放射線科	2	2	
八尾徳洲会総合病院	肝臓外科	2	2	
	肝臓内科	1	1	
若草第一病院	消化器内科	3	3	内視鏡治療などがんに対して積極的かつ迅速な対応を行っております。
	外科	5	5	手術中の迅速病理組織診断を行うことができます。より侵襲性の少ない手術を心がけております。
	放射線科	3	3	平成23年8月よりリニアックが再稼働となりました。各診療科と連携し治療を行います。
近畿大学医学部附属病院	放射線診断科	4	2	
	放射線治療科	8	4	
	外科(肝胆膵)	7	7	

## 肝がん

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数		各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど	
主な診療科名	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数	
国立病院機構 大阪南医療センター			
消化器科	10	10	
外科	10	2	
富田林病院			
外科	6	1	
内科	14	1	
放射線科	2	1	
大阪労災病院			
外科	18	2	消化器内科、放射線治療科を密に連携し肝胆膵領域の癌に対して集学的治療を実践
消化器内科	12	6	早期発見、低侵襲で確実な処理を心がけている
放射線治療科	1	1	がん手術後の再発予防や残存腫瘍の治療
バルランド総合病院			
消化器内科	10	10	
外科	15	15	
市立堺病院			
外科	14	2	それぞれの臓器特有の専門的な知識と難易度の高い手術に対応できる技術を持った医師による高度な医療水準の治療を受けることが可能です。
消化器内科	8	2	地域の開業医の先生(かかりつけ医)や他病院との連携を強めながら、消化器疾患全般の診療を幅広く行っており、ほとんどの消化器疾患に対応できる体制をとっています。
放射線診断科	4	1	内科や外科など関係各科からの紹介、依頼に基づいて検査や治療を行いますので、頻回にカンファレンスを行い、情報の交換や診断、治療方針の検討を行うなど他科との連携を大切にしています。
放射線治療科	1	1	QOLを良好に保ちながら状況に応じた的確な治療を受けていただくとともに、わかりやすい説明を心がけています。
市立岸和田市民病院			
外科	6	1	ガイドラインに沿った標準治療を行っています。
消化器内科	10	10	PEITやRFA治療について、Real-time Virtual sonographyを導入し、最先端の治療が可能となっています。
腫瘍内科	3	3	
放射線科 (放射線治)	4		
りんくう総合医療センター			
外科	10	3	りんくう総合医療センター外科は昭和27年開設以来、一般外科、消化器外科、内分分泌科(甲状腺・乳腺)、小児外科、肺縦隔外科(2005年4月より呼吸器外科として独立)の診療を行ってきました。過去56年の実績を基に、現在は大阪大学消化器外科、乳腺内分分泌科、小児外科学教室と、スタッフの派遣のみならず診療、研究、教育の各分野で密に交流しています。
放射線科	1	1	りんくう総合医療センターの開設に伴い新しい診療科として診療を始めました。最新の放射線診療機器をそろえた中央放射線部の中心的な働きを行う診療科です。診療業務として放射線画像診断、放射線治療、カテーテル治療を行います。病診連携を軸に放射線外来診療を行います。
府中病院			
外科	9	1	肝胆膵外科高度技能指導医を中心に高難度な手術を行っている。現在、放射線治療に関しては協力医療機関にて施行してるが、平成24年6月より当院でも治療可能。
消化器内科	11	11	現在、放射線治療に関しては協力医療機関にて施行してるが、平成24年6月より当院でも治療可能。
泉大津市立病院			
外科	7	7	
岸和田徳洲会病院			
外科	5	5	
消化器内科	5	5	
放射線科	1	1	

## 肝がん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
	主な診療科名	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数	
市立貝塚病院	内科	5	2	肝癌治療ガイドラインに準じて治療を行っています。
	外科	8	1	原発性肝がんについては現在その病態や肝機能により、外科的切除以外に経皮的焼灼術やエタノール注入、カテーテルによる塞栓術など様々な治療が使い分けられていますので、内科、放射線科と十分協議し全身状態なども考慮に入れた上で最も適切な治療法を選択して行っています。近年、手術以外の治療法が発達してきたおかげで、原発性肝がんの切除症例は減少していますが、代わって大腸癌などからの転移性肝がんの切除例が増加しています。
	放射線科	4	1	孤立性肝がんに対する定位照射に対応可能です。
和泉市立病院	消化器内科	4	4	PEIT・RFAなどの穿刺療法に積極的に取り組んでいます。
	外科	7	2	手術適応のある症例は、開腹手術を行っています。
	腫瘍内科	4	1	専門医を中心にがん薬物療法専門医、薬剤師、放射線治療専門医でチーム医療を実践します。
	放射線科	3	1	患者様のQOL向上につながる適切な治療を放射線科の理念とし、的確な診断と患者様に優しい治療を心がけています。
大阪市立総合医療センター	肝胆膵外科	3	3	腹腔鏡下肝切除術を積極的に行っています。
	肝臓内科	3	3	
	臨床腫瘍科	5	5	
	放射線腫瘍科	3	3	
淀川キリスト教病院	外科	14	3	
	消化器内科	15	1	
	放射線科	4	0	
済生会中津病院	外科	8	1	肝臓内科専門医と協力し、高度進行肝癌に対する拡大手術から肝機能を温存した縮小手術まで積極的な外科治療を行っています。
	消化器内科	13	2	
北野病院	消化器内科	19	3	消化器センターとして外科と内科が連携し、RFA・PEIT・TACE・外科的切除を個々の症例に応じて行っています。
	消化器外科	10	3	年間手術症例は約30例。肝予備能が対術可能であれば、積極的に外科的切除を行っている。また大腸癌肝転移で切除不能例では、化学療法で腫瘍を縮小させてから根治的切除を目指している。
	放射線科	8	2	
住友病院	消化器内科	6	5	RFA(ラジオ波焼灼療法)・TAE(肝動脈塞栓術)・肝切除術を症例に応じて選択しています。食道静脈瘤に対しては内視鏡的硬化療法や結紮療法を行っています。また外来での説明不足を補うために定期的に肝臓病教室を開いています。
	消化器外科	11	8	切除可能な場合は積極的に外科的切除を行っていますが、肝機能の問題や、発見された時に既に進行している場合も多く、その場合は消化器内科や放射線科などと協力してラジオ波やTAE、放射線治療や抗がん剤などで、集学的治療を行っています。
	放射線科	5	1	このたび住友病院では、最新、最高峰の直線加速器「CLINAC iX」(米国Varian社製)を導入いたしました。これにより今日の最先端である様々な高精度放射線治療が可能となります。最新の装置を用い、放射線治療を受ける患者様の負担をできるだけ軽減しつつ、最大限の効果をもたらすような治療を常に目指していきたいと考えております。
大阪府立成人病センター	肝胆膵内科	10	6	肝がんは早期に発見すれば、より体に負担の少ない治療が可能です。充実した画像診断装置を用いた早期発見に力を入れています。
	消化器外科	12	2	ICG蛍光法を用いた術中微小肝癌に対する集学的治療
	放射線治療科	6	2	近年の放射線治療の急速な進歩を背景にさまざまな高精度照射を導入し、がんの3大治療(外科手術、化学療法、放射線治療)の1つとして院内では他科と協同して集学的治療の一端を担う一方、病々連携、病診連携を通じて院外のがん患者さんの治療も積極的に受け入れております。

## 肝がん

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数		各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど	
主な診療科名	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数	
<b>国立病院機構 大阪医療センター</b>			
消化器外科	12	12	肝：原発性肝細胞癌に対しては、肝臓癌の大きな発生原因であるウイルス性肝炎、肝硬変の専門医を有する消化器内科と連携し、肝切除を中心に相補的な外科治療（腹腔鏡下マイクロターゼ焼灼術、開腹下ラジオ波焼灼術など）を積極的に行っています。また、大腸癌を中心とした転移性肝癌に対しても積極的な治療を行っており、現在までに200例を超える手術例を有し、全国規模で行われている化学療法臨床試験にも参画し、転移性肝癌の標準治療の確立に努めています。
消化器内科	4	4	肝：原発性肝細胞癌に対しては、肝臓癌の大きな発生原因であるウイルス性肝炎、肝硬変の専門医を有する消化器内科と連携し、肝切除を中心に相補的な外科治療（腹腔鏡下マイクロターゼ焼灼術、開腹下ラジオ波焼灼術など）を積極的に行っています。また、大腸癌を中心とした転移性肝癌に対しても積極的な治療を行っており、現在までに201例を超える手術例を有し、全国規模で行われている化学療法臨床試験にも参画し、転移性肝癌の標準治療の確立に努めています。
放射線治療科	2	2	
<b>大阪赤十字病院</b>			
消化器科	28	22	外科の連携の上、早期例においてはまず内視鏡治療を行っており、ESDも積極的に施行しています。進行例で切除不能例に対しては化学療法を施行しています。
外科	22	4	消化器科医と協力の下、手術及び内視鏡的治療（TAE, PEIT, MCT, RFA）を組み合わせた集学的治療を行っています。
放射線治療科	2	2	高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に行っています。放射線治療の効果を最大限に引き出しながら、患者さまへの負担を最小限に抑えるためにRapid Arc（回転しながら行うIMRT）による治療も開始しました。
<b>済生会野江病院</b>			
消化器内科	8	2	
外科	3	3	
<b>大手前病院</b>			
消化器内科	8	4	
消化器外科	8	2	消化器内科とタイアップし、今あるがん治療から予防まで最新の治療を行ないます。
放射線科	1	1	
<b>大阪警察病院</b>			
外科	10	2	肝臓の治療においては、肝動脈塞栓療法、経皮的ラジオ波凝固療法、肝切除手術など治療法の選択肢があるため、患者さん・家族の方に各々の治療法の長所・短所、治療成績を十分説明した上で治療方針を決定しています。
消化器内科	8	4	経皮的治療（ラジオ波焼灼療法、エタノール注入療法）、経カテーテル的治療（放射線科にて）— 肝動脈塞栓術（リポドール動注を含む）、リザーバー留置持続化学療法、放射線療法などの治療を行っています。
放射線科	5	5	当科では肝がんに対して血管内治療（肝動脈化学塞栓療法）を行っています。
放射線治療科	4	4	手術と匹敵する治療成績が期待できる疾患群には、臓器の機能を温存しつつ根治的照射を行っています。その他準根治照射や予防照射、癌による種々の苦痛を取り除くための緩和的放射線治療にも積極的に取り組んでいます。
<b>NTT西日本大阪病院</b>			
消化器外科	8	2	手術不適応症例に対しても、ラジオ波・マイクロ波焼灼術、肝動脈塞栓術、肝動注化学療法、エタノール注入術などを組み合わせて精力的な治療を行っています。
消化器内科	6	4	当院では患者さんに合わせた最適な治療を提供できるよう、肝臓専門医が外科や射得科の医師と連携しながら診断、治療を行っています。
放射線科	3	3	当院の放射線治療科と総合健診センターには最新の画像診断装置（PET-CT 2台、MRI 3台、CT 3台のうち1台は64列マルチスライスCT）があり、治療前の診断から治療計画、治療後の観察にかけて一貫したハイレベルの画像診断が可能です。
放射線治療科	2	2	当院には、外科、内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、整形外科などに、がん治療のエキスパートが多いため、これらの科と連携して、放射線、手術、化学療法、それぞれの治療法の長所を組み合わせたチーム医療が可能です。
<b>愛仁会千船病院</b>			
消化器内科	4	4	
外科	5	3	
<b>大阪厚生年金病院</b>			
放射線診断科	6	2	
消化器外科	15	3	
消化器内科	33	6	肝がん領域においては、放射線科との協力、また専門医指導の下にチーム医療を推進し、患者さんに優しい医療を目指して努力・研鑽しています。

## 肝がん

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど	
主な診療科名	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数		
関西電力病院	外科	9	9	
	消化器内科	8	3	RFAは約10年の実績があります
	放射線治療科	1	1	
日生病院	消化器内科	4	3	肝がんに対してTACE、TAEを実施しています。肝がんに対する局所療法は、主としてRFAを実施しています。また、TACE不能または進行肝がんに対しては、分子標的治療薬も含めて、動注あるいは全身化学療法を実施しています。
	消化器外科	5	2	手術だけでなく、放射線科と連携し、RFA、TACEも積極的に行っています。
きっこう会多根総合病院	外科	14	2	
大阪市立大学医学部 附属病院	肝胆膵内科	9	9	肝細胞癌に対する局所治療の症例数は大阪でも有数であります。外科や放射線科と密に連携を取り治療を行っています。当科の特徴として人工胸腹水併用や腹腔鏡併用下で治療を行っており、通常の経皮的治療困難症例も施行可能です。
	肝胆膵外科	10	10	集学的治療を積極的に行っています。
	消化器外科	31	3	
	放射線科	24	11	
景岳会南大阪病院	外科	6	5	
	放射線科	1	1	
府立急性期・総合医療 センター	消化器内科	12	8	消化器内科は消化器領域の救急疾患および高度医療を要する(難治性疾患や癌など)の疾患を中心にしながら幅広く診療しています。
	外科	17	3	頭・胸・腹部臓器疾患のうち外科的処置を必要とする疾患を対象としています。 ・「大阪府がん診療連携拠点病院」として、がんの診断と治療を行っています。 ※ 関係各科および部署(画像診断科、消化器内科、呼吸器内科、放射線治療科、頭頸部外科(耳鼻咽喉科)、病理科など臨床腫瘍医を含む腫瘍部門)との協議のもとに、治療方針を決定しています。
大阪鉄道病院	外科	8	3	肝がんについては、患者さんの術後のQOLの向上に重点を置いた治療に努めています。また、術後の再発や切除不能症例に対しては、消化器内科と連携して集学的治療を実施します。
	消化器内科	7	2	消化器がんについては、他の診療科と連携し、患者さんのQOLを重視した、低侵襲な治療を心がけています。
	放射線科	2	2	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。
東住吉森本病院	内科	12	3	肝臓専門医を擁し、ウイルス肝炎などの高リスク群のスクリーニング、インターフェロンなどの抗ウイルス療法を行っています。また、肝癌に対する経皮的治療(ラジオ波、マイクロ波)も積極的に行っています。
	外科	7	3	肝胆膵外科高度技術指導医により、高難易度の肝切除術にも対応しています。原発性肝癌や転移性肝癌に対する肝切除はもとより、2回目、3回目の再肝切除も積極的に実施しています。
	放射線科	2	2	内科または外科に入院された患者さまの経動脈的治療(TACE/TAE)は、全て放射線科の専門医が治療にあたっています。